

平成29年度 帯広コア専門学校 自己評価報告書

1. 実施方法

学校長指示の下、事務長により評価表を作成し、それぞれの項目について点検、評価を行った。評価は、「1（不適切）～4（適切）」の4段階評価とし、可能な限り根拠や課題を明示するように努めた。

2. 自己評価 結果（状況・課題等）

基準1 教育理念・目的・育成人材像等		評価
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3
【1-2】	学校の特色は何か	3
【1-3】	学校の将来構想を抱いているか	3
<p>十勝の総合学校としての教育機関としての意義、全人教育に力を注いでいることなどは職員間である程度の理解が浸透しているようだが、理念・目的・育成人材像及び学校の特色についての共通理解はまだ不十分と読み取れる。また特徴等に関して整理が不十分であり、高校生や高校教員への浸透も進んでいないと感じている。学校の将来構想は社会環境の変化に対応した情報収集を行い、地域の要望・期待に応じて検討を加えているが、職員には十分伝わっていないようだ。</p>		

基準2 学校運営		評価
【2-4】	運営方針は定められているか	3
【2-5】	事業計画は定められているか	3
【2-6】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	2
【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2
【2-8】	意思決定システムは確立されているか	3
【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
<p>新規学科の立ち上げ、既存の学科の整備の着手中の現状で、学生不足による収入の悪化を主因とする処遇に対する不適切感が昨年度より増している。就業規則や給与規定に関しては、専門家のアドバイスのもと見直しをかけている最中である。意思決定システムなどの見直しとその徹底も必要。また情報システム化等による業務の効率化に対する不満がコメントに見られ、より一層の改善が見込まれる。</p>		

基準3 教育活動		評価
【3-10】	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3
【3-11】	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3
【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか	3
【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3
【3-14】	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3
【3-15】	授業評価の実施・評価体制はあるか	3

【3-16】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
【3-17】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
【3-18】	資格取得の指導体制はあるか	4
<p>教育活動については、入学段階での学力、教育到達レベルの判断が難しい学生に対する指導が指摘されており、今後の大きな課題となっている。教育活動の評価である授業評価は実施されているが、活用方法が不明確との指摘とともに、学生の多様化を考慮した方法が求められている。また教職員自身の研修の機会の必要性を感じていることがうかがえる。</p>		

基準4 教育成果		評価
【4-19】	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3
【4-20】	資格取得率の向上が図られているか	3
【4-21】	退学率の低減が図られているか	3
【4-22】	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
<p>就職指導に関しては現状で特に課題を感じていないようだ。また退学者に関しても、保護者面談や補講等で対応をしている。</p> <p>卒業生に関してはその後の活躍を十分に把握できているとは言えず、この点をフォローすることにより、今後の教育活動につなげて行く必要があると感じている。</p>		

基準5 学生支援		評価
【5-23】	就職に関する体制は整備されているか	3
【5-24】	学生相談に関する体制は整備されているか	4
【5-25】	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
【5-27】	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3
【5-29】	保護者と適切に連携しているか	3
【5-30】	卒業生への支援体制はあるか	3
<p>様々に学生を支援する体制は今後も充実を図ることが求められている。また、卒後教育についても検討を進めるべきであると考えられる。</p>		

基準6 教育環境		評価
【6-31】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
【6-32】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
【6-33】	防災に対する体制は整備されているか	3
<p>30年を経過する中で建物や設備の老朽化が見られ、また多彩な学科やコースの対応を教室のパーティション等で対応している現状は、不満が多いようだ。使用している機器の中には、最新の機器との接続が困難なものもあり、計画的な更新を考える必要がある。近年の異常気象に対応するためにも、防災に対する連絡体制の構築を行うことが求められている。</p>		

基準7 学生の募集と受け入れ		評価
【7-34】	学生募集活動は、適正に行われているか	3
【7-35】	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
【7-36】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3
【7-37】	学納金は妥当なものとなっているか	3
入学選考に関しては、見直しが必要ではないかという意見が見られた。		

基準8 財務		評価
【8-38】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
【8-39】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
【8-40】	財務について会計監査が適正に行われているか	3
【8-41】	財務情報公開の体制整備はできているか	3
本校は適切に財務処理が行われており、職業実践専門課程の認定を受けていることから財務情報を公開している。また財務基盤の安定のためには、学生数の確保が重要になっている。評議委員等に教職員が入っており、また会議の場でも財務については説明をしているはずだが、まだ不十分のようである。		

基準9 法令等の遵守		評価
【9-42】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
【9-43】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
【9-44】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
【9-45】	自己点検・自己評価結果を公開しているか	2
就業規則や給与規定に関しては見直し中。情報管理に関しては不十分な点もあり、対応が後手に回っているところもある。ホームページで、自己評価の公表や学校関係者評価の公表が行われている。		

基準10 社会貢献		評価
【10-46】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
【10-47】	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4
可能な限り社会貢献に尽くしている。ボランティアの依頼が多くあり、ボランティアに臨みやすい環境にあるが、積極的に地域活動に関わることを学生に奨励している。		

以上